

外国人観光客の誘致強化を目指し、 町内の観光スポット15か所で 無料の公衆無線LANサービスを開始

江差町 様

北海道の南西部に位置し、北海道文化発祥の地といわれる江差町は、観光の名所としても古くから知られています。その観光振興を担う江差町追分観光課の主導のもと、江差町役場および町内の観光スポットの合計15か所にWi-Fi環境が整備され、2015年11月から誰でも無料で使える公衆無線LANサービスが開始されました。これにより、国内外を問わず江差町を訪れたすべての観光客が、自分で持ち込んだスマートフォン等を利用して屋内外で自由にインターネットにアクセスし、SNSや江差町の観光情報を閲覧できる環境が実現されました。



写真: 江差町 追分観光課 課長 大坂敏文氏(右) 追分観光課 係長 森直彦氏(左) 以下、森氏

取材協力: 株式会社栄電社

Wi-Fi環境の構築で外国人観光客の さらなる受け入れを目指す

近年、江差町を含めた道南地域への外国人観光客は急増しているといえます。外国語による案内板・道路標識の設置を進める一方、江差町公式HPの多言語化にも取り組んでおり、広く海外へのアピールを行っています。

江差町内でもスマートフォンを携える外国人観光客が多数見受けられ、「役場にも外国人観光客から『宿泊地や観光地でWi-Fiは使えるか』という問い合わせを頻繁に受けるようになっていました」と、森氏は話します。

公衆無線LANの利便性を高める 多彩な機能を評価

江差町は公衆無線LANサービスの導入に向け、2015年8月、入札を実施します。入札を行うにあたって掲げられた要件は、「利用にあたって事前に面倒な設定を行うことなく、誰もが簡単にWi-Fiを使えるようにする」こと、また、団体客が一斉にWi-Fiにアクセスした場合であっても快適な通信を確保すること、さらには端末からの初回アクセス時に「Wi-Fi利用にあたっての注意事項」を表示させるような仕組みも要件として定められました。

入札の結果、最終的に選択されたのは栄電社が

提案したバッファローのWi-Fi製品を活用したWi-Fiシステムでした。

今回のインフラの主軸となるWi-Fiアクセスポイントの「FS-600DHP」が、公衆無線LANサービスを実現していくにあたって他のWi-Fiアクセスポイントやスイッチと組合せて、より大規模なWi-Fi環境を構築可能な「ゲートウェイ機能」や、アクセス時にあらかじめ登録されたURLを表示する「ポップアップテクノロジー」も評価ポイントとなりました。

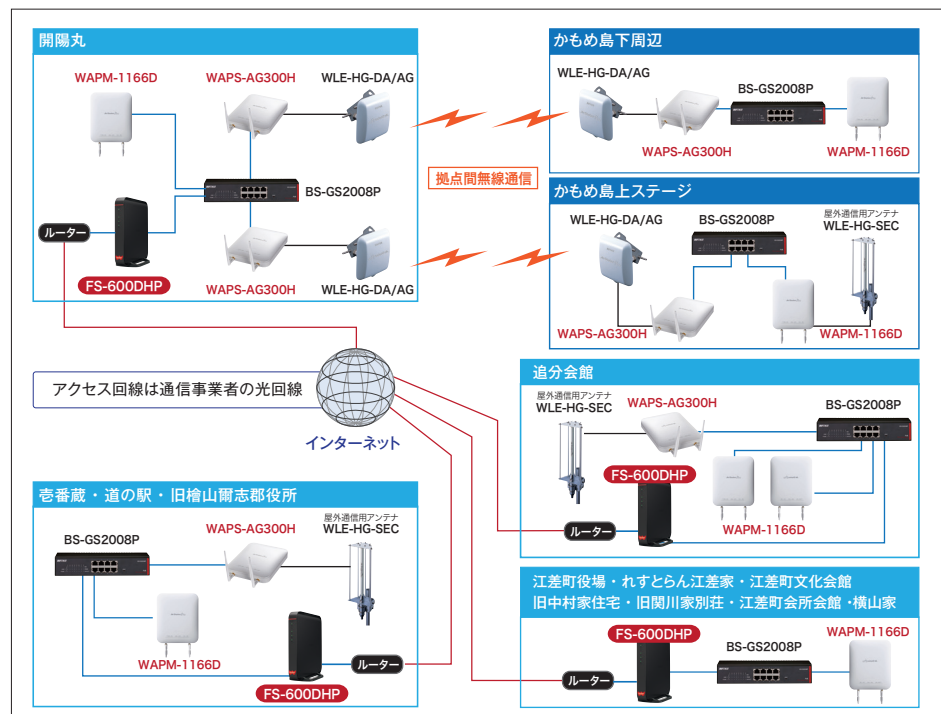
「これらの機能は、バッファローから提案してもらえました。結果、江差町の要望に合致するネットワークの構築に必要な機能を提供できた一方、導入コストも抑制されたと考えています」(池内氏)

役場、観光スポットを中心に町内15ヶ所で 公衆無線LANサービスを開始

2015年10月から約一か月間をかけて設置工事が開始されました。重要指定文化財への設置もあることから、学芸員の立会いのもと、細心の注意を払いながら工事が行われ、2015年11月1日から本番運用が開始されました。

端末とWi-Fiアクセスポイント間の通信速度は最大300Mbps(規格値)に対応しているため、快適に利用可能な公衆無線LANサービスが実現されています。実際、取材時にスマートフォンでアクセスしたところ、SNS等への写真のアップロードもスムーズに行うことができました。

今回の公衆無線LANサービスの導入を振り返り、「今回の公衆無線LANサービスを実現していくにあたり、どのような製品や機能が最適なのか役場の職員だけでは分かりませんでした。対して、栄電社からは多くのアドバイスや提案をもらい、結果、満足のいくWi-Fi環境を構築してもらえました。また、バッファローには、観光客がWi-Fiを利用する際に、その利便性をさらに高められるような機能の開発と提案をこれからもお願いしたいと考えています」(森氏)



導入製品



法人様向け 11ac/11n/a/11n/g/b切替使用
インテリジェントモデル Wi-Fiアクセスポイント
WAPM-1166D

